



家庭訪問、ありがとうございました

校長 嶋田 暢也

4月末から5月初旬にかけての家庭訪問にご協力いただきありがとうございました。おうちの子どもたちの様子や、学級・学校への想いも聞かせていただきました。皆さんからいただいたお子様のこと、皆様の想いを大切に、引き続き、学校と家庭、地域の連携を図りながら子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

1年生を迎える集会

4月21日(火)3限に「1年生を迎える集会」を実施しました。集会では、1年生が声を合わせて発表しました。「仲良くしてね。」と言った後に歌を歌いました。この会を司会・運営してくれた児童会の皆さん、1年生の案内をしてくれた6年生の皆さん、素敵な花道を作ってくれた5年生の皆さん、そして1年生を歓迎してくれた2年生、3年生、4年生の皆さん、ありがとうございました。



最後は校長から「福島小学校」と言えば、「みんなが幸せになるために必要なことを学ぶことができる学校」と言われるようにするために、みんなに頑張っで欲しいことを話しました。

目(め) は、人の良いところを見るために使おう。
 耳(みみ) は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
 手(て) は、人を助けるために使おう。
 心(こころ) は、人の痛みがわかるために使おう。
 口(くち) は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

そして最後はいつものあの言葉です。それは、上記の皆さんに頑張っで欲しいことをみんなで行ってこうと気持ちを盛り上げる言葉です。その言葉を聞くのは1年生にとっては初めてです。その言葉を2～6年生のみんなと声を合わせて言いました。

みんな～。大好き～。



「福島のきまり」

ルールを守って楽しい学校生活を送るため、今年も「福島のきまり」を配付しています。次のことは特に今年も大切にしていきたいと思います。お子様とも話してください。

- ・登下校について 朝の登校時間は、7:50以降です。
- ・あいさつについて 「おはようございます。」「さようなら。」「おじゃまします。」など、あいさつは大きな声ではっきりと聞こえるように言ひましょう。
- ・下ばき、上ばきについて 下ばきは、くつ箱の前面にくつのかかとをそろえて入れましょう。
- ・休憩時間中の遊びについて 中庭でボール遊びをしないようにしひましょう。
- ・そうじについて 始まりと終わりの時間を守り、そうじのルールを守りしひましょう。
- ・放課後の遊びについて 放課後自転車で学校に来ることは禁止しひます。
- ・校区外や繁華街・スーパー・コンビニ等に子どもだけで行かないようにしひましょう。
 (5.6年で、家の用事でどうしても行かなければならない場合は除く)
- ・放課後の運動場は水曜日は使用できません。
 ※ 児童公園での遊びについては、周りの人の迷惑にならないように気を付けしひましょう。

5・6・7月の学校行事予定です。

5月 26(火) 内科健診(4・5・6年) 28(木) 5年社会見学 給食参観・給食试食会 6月 2(火) 児童会集会(1限) 耳鼻科健診(1・3・5年) 3(水) キッズサポートスクール(2・5年) 1年2組研究授業 1年2組(下校14:35) 他の学年・組(下校13:20)	4(木) 検尿1次 8(月) クラブ(6限) 9(火) 避難訓練 (地震・津波 平井中央公園) 11(木) 検尿2次 15(月) ALT来校 交通安全教室 (1・3年 3限) 16(火) プール開き 18(木) ALT来校	23(火) 授業参観(5限) ※ 全学年5限に変更していま す。ご注意ください。 24(水) 6年研究授業 6年(下校14:35) 他の学年(下校13:25) 26(金) スクールカウンセラー来校 7月 13(月) 14日(木) 16日(木) 個人懇談会 17(金) 1学期終業式
---	---	---

今年度8月以降の主な行事予定(変更することもあります。ご了承ください。)

- ・8月25日(火) 2学期始業式
- ・9月28日(木) 5年日本製鉄見学
- ・10月7日(水) 4年研究授業
- ・10月17日(土) 運動会(雨天の場合18日)
- ・10月20日(火) 21日(水) 5年加太合宿
- ・10月23日(木) 運動会振替休業日
- ・10月31日(土) 土曜参観 秋フェス
- ・11月 2日(月) 土曜参観振替休業日
- ・11月 6日(金) 遠足(1・2・3・4・年)
- ・11月26日(木) 5年緑育体験
- ・12月15日(火) 16日(水) 6年修学旅行
- ・12月24日(木) 2学期終業式
- ・1月6日(水) 3学期始業式
- ・2月25日(金) 6年生を送る会
授業参観
- ・3月17日(水) お別れ式
卒業証書授与式
- ・3月24日(水) 3学期終業式
- ・3月31日(水) 離任式

4月から郵便局近くの横断歩道の旗持（見守り隊）をしてみよう

私は今年度の4月から郵便局近くの横断歩道で「見守り隊」として、小学生の皆さんが安全に横断歩道を渡るためのサポートをしています。今日は見守り隊を始めてみて気づいたことやとても幸せな気分になれていることを紹介させていただきます。

（1）初めて気づいたこと～皆さん、本当に優しい。本当にありがとうございます。～

初めて気がついたことは、福島小学校の前を通る自動車やバイクの方の多くが子どもたちにとっても優しいことです。見守り隊を始めた当初は「子どもが横断歩道を渡るまでにはもう少し距離がある、ここで止まってもらっていただく時間が長くなる。どうしよう？」と迷うことがありました。しかしそういう時に限って自動車の方から自主的に減速してくれるのです。それを見た瞬間に私は「横断中」の黄色の旗をパッとかざします。本当にうれしいし有難いことです。見守りをしているたった30分の中にそういう機会が何度もあるので、本当にうれしくて気持ちが高ぶって、上機嫌で一日の仕事を始めることができます。本当にありがとうございます。

（2）見守り隊の帽子、チョッキ、旗は、私の心のスイッチが入るための変身アイテム

見守り隊については、これまで長い間、福島住宅の十字路の所で見守り隊をしてくださっていた方がいます。令和7年度の3月末をもちまして勇退されました。これまで本当にありがとうございます。その方からは、子どもの安全確保・充実のためたくさんのアイデアやアドバイスをいただき、たくさん支援していただきました。子どもの安全を本気で思い、労を厭わず行動してくるのが本当に有難いです。そして今も貴重な提案をしてくださっています。私が今着用している帽子、チョッキ、旗はその方が着用していたものを使わせていただいています。その方には及びませんが、子どもたちの安全のために一生懸命にいただいたその気持ち、心、魂、そういったものを受け継いでいきたい。そういう想いから、新しいものを着用するのではなくその方が身に付けていたものを使いたいと思って着用しています。そのため、郵便局前に立つ時の私の気持ちは、帽子、チョッキ、旗を身に付けた瞬間から「見守り隊」になっています。それはまるで正義のヒーローのような気分です。

55歳にもなったいい大人が、見守り隊のグッズを身に付けるだけでそういう気持ちになっているのですが、まるでテレビで戦隊ものを見て正義のヒーローのような気分になっていた小さい頃の自分のような気持で横断歩道の前に立っているのは、笑ってしまうのですが、どこかほっこりした気分になってしまいます。



（3）そこで新たな変化が～福島小学校の前を通る人に元気を与える存在になりたい～

どこかヒーローのような気持で見守り隊をしているため、新たな気持ちが湧き出てきました。福島小学校の前を通る人たちに、お礼の気持ちを込めて通り過ぎる時にお辞儀をたくさんしました。それに対して、本校の保護者でもなく、恐らく関係はないであろうと思われる方々が私に対してお辞儀をしてくれるようになります。

りました。本当に有難いことです。目の前を通り過ぎていく高校生たちも「おはようございます」と挨拶を返してくれるようになりました。そのことで私は一層うれしい気持ちになっています。正直言って止められないです。

このようなうれしい連鎖が続き、新たな考えが私の頭に浮かんだのです。

自分のお辞儀と笑顔と身体から溢れだすオーラで、福島小学校の前を通る人たちに元気をプレゼントしたい。

最近では全く面識がない人ですが、私の前を通り過ぎる時に手を振ってくれる人もいます。きっと「ご苦労さん」と言ってくれているのだと思います。そのことだけで心と心がつながっているような温かい気持ちになるのです。



（4）名言「大人が輝けば子どもが輝く。子どもが輝けば未来が輝く。」

私の話の中によく登場する福島正伸先生の言葉なのですが、次のようなお話があります。

僕はどんな仕事も自分で「この仕事で誰かを笑顔にしよう！この仕事を通してみんながワクワクする社会を作ろう！」そう思っただけで、仕事の仕方が変わる。そしてそれが天職になる。どんな仕事をして、僕はこの仕事で誰かを笑顔にすると決めてやることにしたんです。

そしたら、それまで天職を探してた僕が、全ての仕事为天職になるんだってということが分かったんです！子ども達が見ているんだ！だからいつも精一杯いい仕事をしよう！いつも子ども達が見ていると思って仕事をする。あのおじさんみたいな仕事がしたいと言われるようにする。そしたら、全ての仕事が輝き出したんです。

このような仕事できるようになりたいと思って、私はこれまで頑張ってきました。今回の見守り隊の仕事を通して、自分の本職（学校の先生）ではないのかもしれませんが、少し理想に近づけたように思っています。こんな些細なことで幸せを感じることができる私って、本当に幸せだなとも思います。

私が大好きな名言セラピストのひすいこたろうさんは、次のような名言を言っています。

「小さな幸せが本当は一番大きな幸せなんです。大きくなるのが『成長』だとしたら、小さなことに大きな幸せを見出せることが『成熟』です。」

少しは自分も成熟してきたのかなとうれしくもあります。福島小学校で学ぶ児童、その保護者、そして福島小学校で働く先生方に、自分の仕事に価値や意義を見出して幸せになって欲しいと思います。そうすると自分の仕事に輝き始めます。その輝く大人（お父さん、お母さん、先生）の姿を見て子どもも輝くようになるのです。働いている大人の人はすぐ楽しそう。自分も早く大人になって、お父さんやお母さんや先生のようにになりたい。そう憧れられるようになりますね。